

大阪外環状線鉄道の新駅が校区内に計画されている吹田南小学校で、平成18年10月～12月にかけて、南吹田のまちづくりを4年生の授業のテーマに取り上げていただきました。

授業では、将来を担う子どもたちに、まちのことに目を向けてもらい、将来のまちの姿を描いてもらうことを目的として、次のようなプログラムに取り組んでもらいました。



子どもたちは、様々な立場に分かれ、「          になったつもり」(例：大人、お年寄り等)で、その1～その4に取り組み、まちについて考える。

**その1：南吹田のまち探検**

・新しい駅ができる場所を見学したり、まちの「気になるところ」「よいと思うところ」を探して写真に撮る。

**その2：まちづくりマップをつくる**

・撮ってきた写真を大きな地図に貼り付けて、まちづくりマップをつくる。

**その3：南吹田がどんなまちになったらいいか考える**

・南吹田がどんなまちになったらいいか、イメージ写真を手がかりに「お店」「公園」「散歩道」について考え、模造紙にまとめる。

**その4：南吹田のまちづくり物語をつくる**

・イメージ写真を使って、南吹田のまちがこんなまちになったらいいな、と思う、「          なまち南吹田」といったまちづくりの物語を考え、紙芝居風に仕上げる。

**【子どもたちが考えたまちづくり物語】**

子どもたちが考えた物語のタイトルをいくつかご紹介します。どれも子どもたちのまちに対する思いや希望が詰まった物語になっています。



そのほかにも・・・「家族みんなで楽しくお買い物ができるまち」「小さい子どもも安全に楽しく遊べるまち」「楽しくきれいなまち」「お年寄りでも楽しくすごせるまち」「ペットが気持ちよく散歩できるまち」など、様々な視点から南吹田のまちを考えた発表がありました。



ご協力いただいた吹田南小学校4年生のみなさん、先生方、ありがとうございました。

**編集後記**

今回は、紙面の関係でアンケート調査結果の一部しか紹介できておりませんが、機会をみて、ほかの結果についてもご紹介していきたいと思っております。小学校での取り組みでは、小学生のパワーに圧倒されながらも貴重な楽しい経験ができました。今後も、調査の進捗状況等を、まちづくり通信にてご案内していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

このまちづくり通信は、南吹田地域のまちづくりに関する情報を共有するためのリーフレットです。

**【発行】**

吹田市都市整備部都市整備室  
都市計画(計画・企画)担当

住所 〒564-8550  
吹田市泉町1丁目3番40号  
電話 (06)6384-1946  
FAX (06)6368-9901  
メールアドレス tosiseib@city.suita.osaka.jp  
ホームページ URL http://www.city.suita.osaka.jp

**アンケート調査を実施しました**

**アンケート調査の概要**

**【調査対象】**

地域住民：新駅周辺の自治会の各世帯  
(乾町自治会・上新田自治会・川岸町自治会・南清和園町自治会・清和園町自治会)  
不在地主：地域内の土地の所有者で、上記自治会の区域以外にお住まいの方  
企業：地域内に立地もしくは土地を所有している企業

**【回答件数】**

	回答件数	回収率
地域住民	1,044件	60%
不在地主	27件	28%
企業	53件	34%
計	1,124件	56%

**【設問項目の概要】**

アンケートでは、下記の内容について、ご意見をうかがいました。  
)現在のまちについて  
・現在のまちへの評価  
・良いと思う点、問題と思う点  
)これからのまちについて  
・地域のプロジェクトの認知度、期待度  
・目指すべき将来像と、実現のために必要なこと  
)まちづくりへの参加について  
・まちづくり活動への参加意識  
)回答者自身について  
・自由意見

今後の南吹田地域の発展がよりよいものとなるように、住民のみならず地域に立地する企業のみならず、ご意見やご意向をうかがいながら、まちづくりの方向性を検討するため、本年度から都市整備室において「まちづくりの調査」を実施しています。

調査の一環として、昨年10月から11月にかけて、地元自治会の協力をいただきながら、南吹田地域のまちづくりについてご意見をうかがうため、アンケート調査を実施しました。

ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

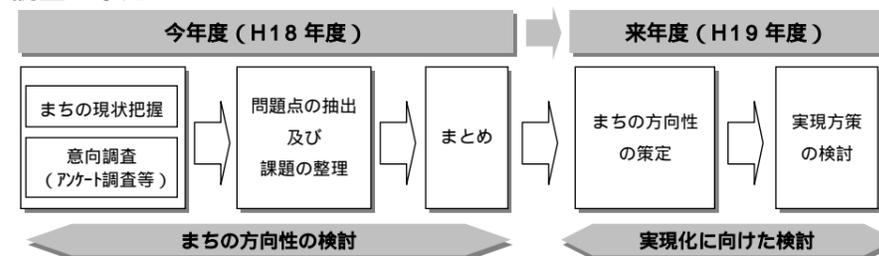
**次の頁に、アンケート調査結果の概要を紹介しています。**

現在、みなさんにご協力いただいたアンケート調査結果の分析作業並びに現状把握を進めています。

今回の調査では、地域住民のみなさんからの回収率が特に高い結果となり、改めてみなさんのまちづくりへの関心の高さを認識させていただいたところです。

今後、南吹田地域のまちづくりに関する問題点の抽出及び課題の整理を行い、次の「まちづくり通信」で報告を予定しています。

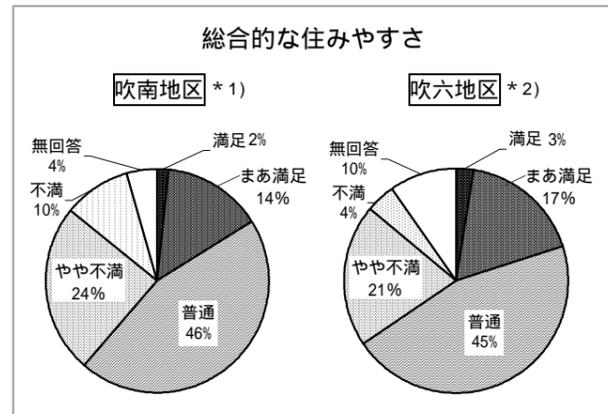
**調査の予定**



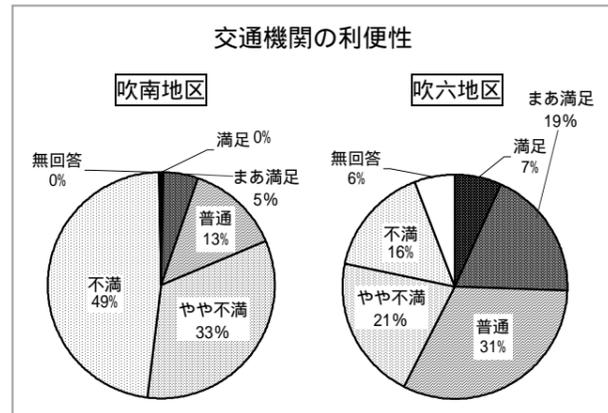
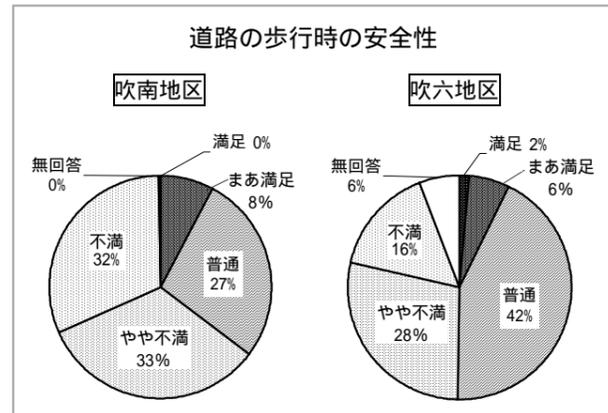
来年度は、どのようなまちづくりを進めていくのか、南吹田地域のまちの方向性を策定するとともに、実現するために必要な取り組みなどを検討し、市民のみなさんと一緒にまちづくりを進めていきたいと考えています。

# アンケート調査結果の概要

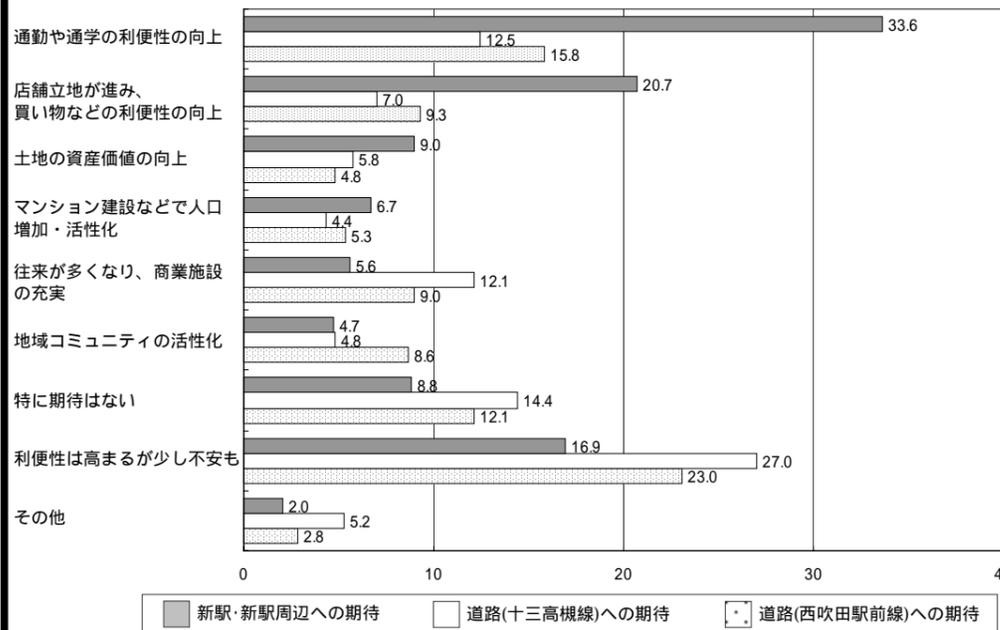
## 今のまちへの評価は？



総合的な住みやすさについては、過半数以上が「満足」・「まあ満足」・「普通」と評価していますが、歩行時の安全、防災・防犯といった「まちの安心・安全に関する項目」や、「買い物や交通機関の利便性に関する項目」について、吹南地区の過半数以上が「不満」・「やや不満」と評価しています。



## 地域のプロジェクトへよせる期待は？(複数選択)

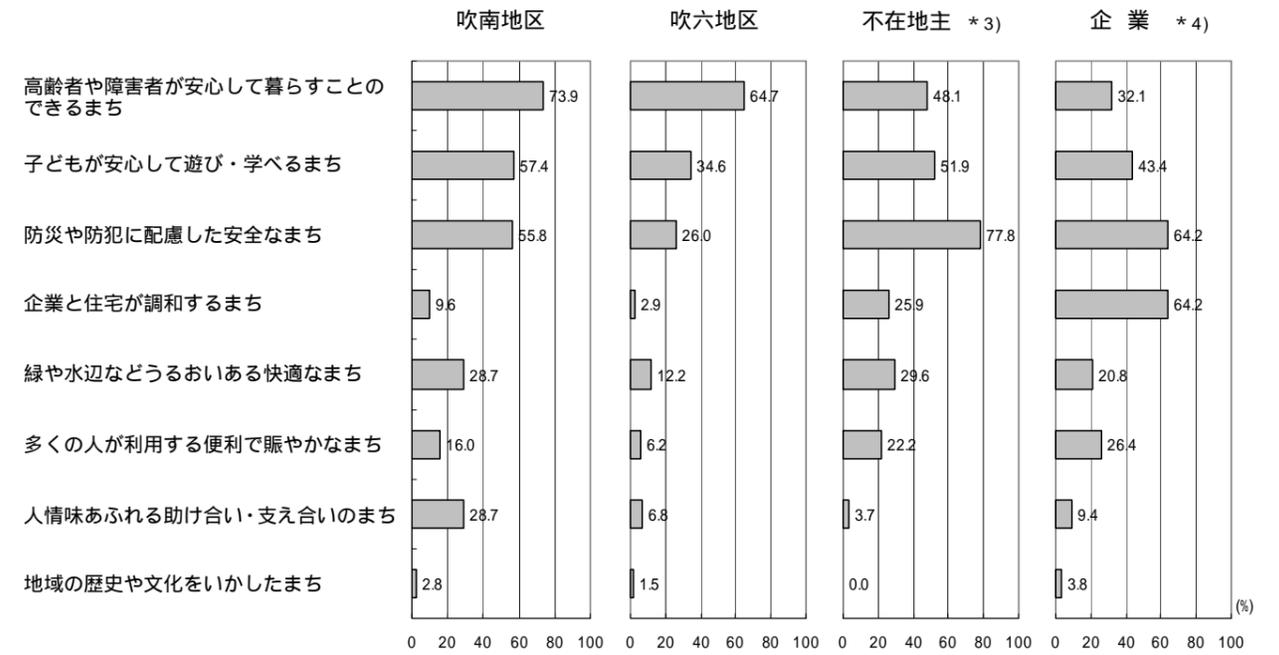


新しくできる駅や道路に対する期待としては、「通勤や通学の利便性の向上」への期待が最も高くなっています。新駅に対しては、次に「店舗立地が進み買い物などの利便性の向上」への期待が高くなっています。また、道路整備に対しては、「利便性は高まるが少し不安も」という回答が2番目に高くなっています。

\*1)吹南地区：乾町自治会、上新田自治会

\*2)吹六地区：川岸町自治会、南清和園町自治会、清和園町自治会

## 「まちづくりの方向性」は？(複数選択)



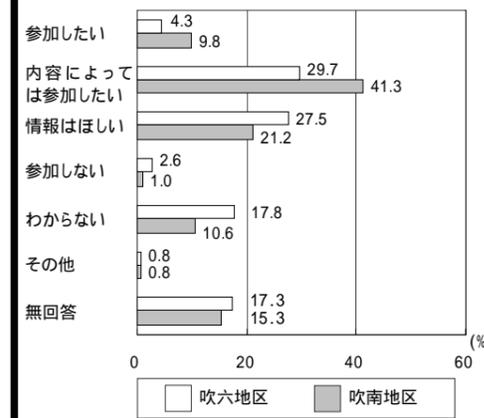
どのようなまちを目指すべきかという質問に対する回答では、吹南地区の7割以上が「高齢者などが安心して暮らすことのできるまち」を選択し、「子どもが安心して遊び学べるまち」「防災や防犯に配慮した安全なまち」も過半数を超える人が選択しています。

吹六地区でも「高齢者などが安心して暮らすことのできるまち」を6割以上が選んでいます。

また、不在地主では、約8割が「防災や防犯に配慮した安全なまち」を選択し、「高齢者などが安心して暮らすことのできるまち」「子どもが安心して遊び学べるまち」も半数が選択しています。

企業は、「防災や防犯に配慮した安全なまち」に加え、「企業と住宅が調和するまち」を全体の6割以上が選択しています。

## まちづくり活動への参加意識は？



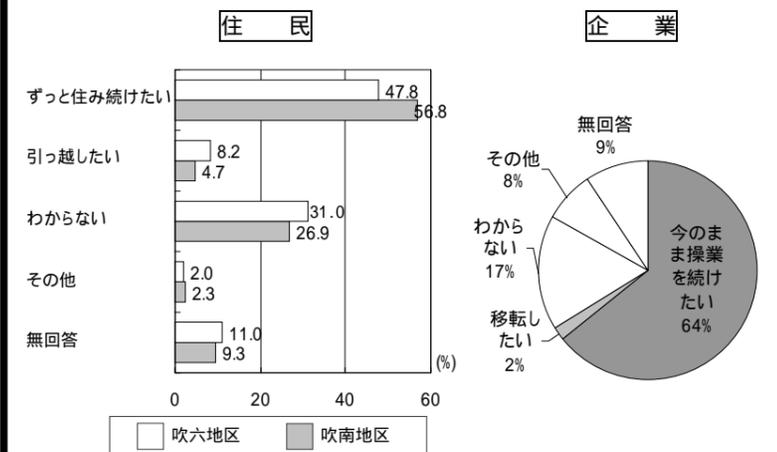
まちづくり活動に対する参加について「参加したい」「内容によっては参加したい」という方をあわせると、吹南地区で過半数を超え、吹六地区でも3割を超えています。

\*ここでの「まちづくり活動」とは... まちづくりについてみんなで話し合い、取り組むこと

\*3)不在地主：地域内の土地の所有者で、調査対象自治会の区域以外にお住まいの方

\*4)企業：地域内に立地もしくは土地を所有している企業

## 住み続けたい意向は？



住民のみなさんの半数は住み続けたいと考えています。また、地域に立地している企業の約6割は、いままま操業を続けたいと考えています。